特定非営利活動法人　富士市のごみを考える会

平成16年度第一回定期総会

議案

日時　平成16年5月29日（土）10時より

場所　フィランセ３Ｆ　第2会議室

平成16年度　富士市のごみを考える会 総会次第

日時　平成16年5月29日（土）　10時より
会場　富士市社会福祉会館 ファランセ・3階第2会議室

1．開会

2．「富士山」合唱

3．理事長挨拶

4．来賓祝辞

5．議長選出

6．議事録署名人選任

7．議事

任意団体富士市のごみを考える会 解散総会

① 第1号議案　平成15年度4月1日～翌年1月5日までの活動報告について
② 第2号議案　平成15年度4月1日～翌年1月5日までの会計報告及び監査報告について
③ 第3号議案　任意団体富士市のごみを考える会の解散について

ＮＰＯ法人富士市のごみを考える会 平成16年度総会

④ 第4号議案　平成15年度活動報告について
⑤ 第5号議案　平成15年度決算報告及び監査報告について
⑥ 第6号議案　平成16年度活動計画（案）について
⑦ 第7号議案　平成16年度予算（案）について
⑧ 第8号議案　平成16年度役員選任について

8．質疑応答及び承認

9．閉会

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆　休　息　☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

- 自己紹介
- 市長への提言　検討会

第１号議案

平成１５年度　任意団体　富士市のごみを考える会事業報告

（平成１５年４月１日～平成１６年１月５日まで）

会発足から２年目を向かえ、ごみを考える会の活動は活発化し、富士市の中でも次第に認知されるようになって来ました。11月に市から組成分析を依頼され、大変でしたが、それをやりきったことの成果は大きかったと思います。皆様ありがとうございました。それからフジスマートネットの編集会議参加や広見小学校での環境授業など依頼されるようになって来ました。また、勉強会を重ね、会員の力もついてきました。

I.　事業の成果

①　排出抑制・適正処理に関する先進団体の見学・学習として	
＜見学会＞	
４月　７日	富士通㈱沼津工場
６月２４日	リコー（常葉大・帆足ゼミと）
７月　１日	環境クリーンセンター
８月１８日	なんぶ農援隊
１０月３０日	エコハウス御殿場
１２月１５日	韮山生ごみ実証実験事情視察
１２月１９日	雑紙等リサイクル現場（富士宮信栄製紙）
＜他団体の企画に参加・交流＞	
４月１９日	藤枝市　池田こみち先生講演会参加
１０月　５日	なんぶ農援隊　「ＥＭで蘇った町」
１０月　８日	ＪＡ青年部との交流会
１１月２５日	幕張メッセ　「元気大賞２００３　発表シンポジウム」
②　排出抑制・適正処理に関する普及啓発活動として	
＜男女共同参画室３団体共催企画＞ （富士市のごみを考える会・学校給食を考える会・市政モニターＯＢ会）	
８月１０日	焼却炉の無駄造りについて（市政モニターＯＢ会主体）
９月１３日	家族で考えよう台所からの地球環境（当会主体）
＜広見小学校・環境授業＞	
９月１２日	第１回目・『富士山とごみと私』の紙芝居と生ごみぼかし作成
１０月　１日	第２回目・生ごみ暈しを土に埋めよう・土の中の生き物調べ
１０月２７日	第３回目・「命のつながりの輪ゲーム」野菜くらべ
１１月	第４回目・キャベツとイチゴの苗を植えよう
１２月　５日	第５回目・４年２組ごみを考える会に質問
＜その他＞	
１１月　９日	富士市環境祭り出展
	フジスマートネット編集に参画　２号・３号・４号
③　排出抑制・適正処理に関する実践活動	
＜家庭系一般廃棄物の中への事業系一般廃棄物の混入状況と組成分析調査＞	
	１１月の月・火・木・金の週４日×４週＝１６回　延べ人数（約６５人）
＜ごみ減量審議会第２部会のごみの組成分析手伝い１回　会より７名参加＞	
事業系一般廃棄物といっても、小規模事業者の場合は、１つの袋の中に家庭系と事業系が混ざっているものが多く、区別不可能なものがほとんどでした。この経験から、家庭系と事業系の枠を取って、一般廃棄物全体のシステム構築と言うごみを考える会の方針が出来てきました。	

＜市長への提言＞	
５月２３日	ごみ減量に向けての提言
１０月　９日	市長との懇談会・意見具申
＜市議会議員へのアンケート＞	
12 月 23 日	送付
＜ごみ処理方式等選定審議会、ごみ減量審議会、事業系ごみ処理検討委員会　参加＞	

II. ＮＰＯに関するもの

９月２９日	ＮＰＯ認証申請書提出
１２月２４日	ＮＰＯ認証取得

III. その他

＜例会＞	
	毎月１回　第４木曜日に　フィランセ３Ｆ
＜他団体への参加＞	
	富士市消費者運動連絡会：宇佐美（理事）、小野（理事）
	富士市男女共同参画センター利用団体委員会

第2号議案

富士市のごみを考える会 平成15年度 会計決算書

（平成15年4月1日から 平成16年1月５日まで）　　（単位　円）

科　　目	予算額	決算額	増　減	備　考
Ⅰ 収入の部				
１．会費収入		64,000		
２．事業収入		20,000		南部農園隊見学
３．補助金・助成金収入		123,016		生協・男女共同企画事業
４．寄付金収入		20,753		個人
５．雑収入		41,400		ソーラー充電器売上
当年度収入合計（A）		269,169		
前期繰越収支差額		27,944		
収入合計（B）		297,113		
Ⅱ 支出の部				
１．事業費				
①排出抑制、適正処理に関する先進団体等見学		52,136		南部農園隊見学他
②排出抑制、適正処理に関する普及啓発活動		121,988		池田先生講師料・他経費
③排出抑制、適正処理に関する実践活動		0		
＜事業費合計＞		174,124		
２．管理費				
①会議費		0		
②旅費交通費		0		
③通信費		1,050		郵送料
④器具備品費		0		
⑤消耗品費		0		
⑥印刷費		3,937		フィランセコピー代他
⑦支払手数料		110		振込み手数料
⑧交際費		2,500		賀詞交換会
⑨図書費		0		
⑩事務費		2,335		文房具他
⑪公租公課		0		
⑫雑費		0		
管理費合計		9,932		
３．予備費		0		
当年度支出合計（C）		184,056		
当年度収支差額（A）－（C）		85,113		
収支差額（B）－（C）		113,057		

平成16年5月25日

上記の通りご報告いたします　会計 星美都子 星

決算監査に入り調査の結果、正確かつ適正に処理されている事を証明致します

監事 渡邊俊子

理事長 小野由美子

第３号議案

任意団体富士市のごみを考える会の解散について（案）

平成14年７月、津川講演会を企画するために集まった女性ばかりの会を、富士市のごみを考える会と命名しました。

その後いろいろな変遷を経て、昨年12月２４日にＮＰＯの認証を取得し、本年１月６日に法務局にＮＰＯ法人富士市のごみを考える会の登録を行いました。

ここで正式に任意団体富士市のごみを考える会を解散し、残金はすべてＮＰＯ法人富士市のごみを考える会に寄付いたします。

第４号議題

平成１５年度　特定非営利法人　富士市のごみを考える会活動報告

（平成１６年１月６日～平成１６年３月３１日）

I.　事業の成果

12 月 24 日にＮＰＯ法人の認証を受け、１月６日に法務局に登録しました。このことにより、ごみを考える会の存在と活動が対外的に認識されることとなりました。

廃棄物減量化等推進審議会第２部会にごみを考える会で提案した生ごみ回収モデル地区事業および生ごみコーディネーターは２月の議会で予算承認され、16 年度の市の事業計画に入りました。

ごみを考える会の成果が着実現れてきました。

①　排出抑制・適正処理に関する先進団体の見学、学習	
＜見学会＞	
２月　９日	丸井製紙㈱
３月２９日	木の花農園
＜交流会＞	
２月　１日	静岡ごみゼロ、志太、由比、清水
３月　６日	沼津の生ごみ活かそう会
②　排出抑制・適正処理に関する普及啓発活動	
１月　５日	市議会議員アンケート結果配布と説明。 市議会議長含め計５回ほど、各会派回る＞
２月　８日	男女共同参画室企画　第３弾「生ごみは宝だ」（学校給食を考える会主体）
２月２０日 ２１日	消費連生活展
	パック連への取り組み（事務局次長、時田、第４分科会主査、小野）
	フジスマートネット編集参画　第４号：３名
③　排出抑制・適正処理に関する実践活動	
２月２８日～	ジャガイモ探検隊
	食器デポジット　打ち合わせ始まる　３回
	ごみ処理方式等選定審議会、廃棄物減量化等推進審議会、 事業系ごみ処理検討委員会等　参加

II.　ＮＰＯ登録　１月６日法務局へ

III. 他団体への加盟

＜他団体への参加＞	
	富士市消費者運動連絡会：宇佐美（理事）、小野（理事）
	富士市男女共同参画センター利用団体委員会

第5号議案

特定非営利活動法人　富士市のごみを考える会　初年度 会計計算書

法人成立の日（平成16年１月6日）から 平成16年３月31日まで　　（単位　円）

科　　目	予　算　額	決 算 額	増　　減	備　　考
Ⅰ 収入の部				
１．会費収入	5,000	5,000	0	１月から3月３名
２．事業収入	10,000	0	-10,000	
３．補助金・助成金収入	0	0	0	
４．寄付金収入	350,000	257,779	-92,221	個人８４７２２丸富製紙６００００ゴミの会１１３０５
５．雑収入	0	7,000	7,000	ソーラー充電器
			0	
当年度収入合計（A）	365,000	269,779	-95,221	
当年度収支差額	0	0	0	
収入合計（B）	365,000	269,779	-95,221	
Ⅱ 支出の部				
１．事業費				
①排出抑制、適正処理に関する先進団体等見学	360,000	1,386	-358,614	韮山訪問
②排出抑制、適正処理に関する普及啓発活動	0	25,356	25,356	パンフレットなど印刷他
③排出抑制、適正処理に関する実践活動	2,000	0	-2,000	
＜事業費合計＞	362,000	26,742	-335,258	
２．管理費				
①会議費	3,000	0	-3,000	
②旅費交通費	0	0	0	
③通信費	1,000	1,650	650	郵送料
④器具備品費	0	0	0	
⑤消耗品費	3,000	0	-3,000	
⑥印刷費	0	14,703	14,703	フィランセコピー代他
⑦支払手数料	0	2,190	2,190	振込み手数料
⑧交際費	0	0	0	
⑨図書費	0	21,000	21,000	年間購読料
⑩事務費	0	14,180	14,180	文房具・ゴム印
⑪公租公課	0	200	200	収入印紙
⑫雑費	0	0	0	
＜管理費合計＞	7,000	53,923	46,923	
			0	
３．予備費	0	0	0	
			0	
当年度支出合計（C）	369,000	80,665	-288,335	
当年度収支差額（A）－（C）	-4,000	189,114	193,114	
次年度繰越収支差額（B）－（C）	-4,000	189,114	193,114	

上記の通りご報告いたします　会計　星 美都子 星

平成16年5月25日

決算監査にあたり調査の結果、正確かつ適正に処理されている事を証明致します。

監事　渡邊俊子

理事長　小野由美子

特定非営利活動法人　富士市のごみを考える会　１５年度　貸借対照表

（自　平成 16 年 1 月 6 日～至平成 16 年 3 月 31 日）

貸借対照表（平成 16 年 3 月 31 日現在）

資産の部		負債資本の部	
普通預金	189, 114	余剰金	189, 114
資産合計	189, 114	負債・資本合計	189, 114

上記の通りご報告いたします　会計 星美都子

平成 15 年度　特定非営利活動法人　富士市のごみを考える会　会計について監査を実施したので、その結果を次の通り報告します。

平成 16 年 5 月 25 日、関係帳簿等を照合調査したところ、すべて相違なく、かつ適正に処理されており、正確なものであることを認めます。

監事　渡邊俊子

理事長　小野由美子

第６号議案

平成16年度　特定非営利法人　富士市のごみを考える会 活動計画（案）

（平成16年４月１日～平成17年３月31日）

I.　活動方針

ごみを考える会は、今までのようにものを大切にする心を富士市民に訴えるだけでなく、さらに参加してもらうという会の活動の第２段階に入りました。

より実践的で温かく誰にでも受け入れられる活躍の場の提供が必要になってきております。市政を動かす先駆的実践的役割を担うという自負を持ってこれからの事業を行っていく所存でございます。

II.　活動内容

①　排出抑制・適正処理に関する先進団体の見学、学習	
＜先進地域への見学・学習会、他団体との交流＞	
適時実施	詳細未定
②　排出抑制・適正処理に関する普及啓発活動	
７月　３日	小中学校等への環境教育の実施（大渕祭り）
８月　１日	パック連全国大会・第４分科会を担当（「生ごみを宝にするには？」）
８月２５日	小中学校等への環境教育の実施（エコクッキング）
実施日未定	町内会等への出前講座、生ごみ自家処理普及講座の実施
〃	ＮＰＯ設立記念講演会
〃	会報発行（２～３ヶ月に１度）
〃	生ごみパンフレット作成
〃	フジスマートネット編集に関与
〃	市の環境フェアー、消費連生活展参加
③　排出抑制・適正処理に関する実践活動	
実施日未定	市長への提言
随　時	各種審議会への参画、援助、発表
４月２５日 ７月１８日	イベントにおける食器デポジット実施 あっぱれフジ・子供相撲大会 海交流事業・富士まつり（提案中）
	生ごみコーディネーター企画・指導
	生ごみを活かし、安心安全な野菜をつくろうプロジェクト
＜会として他団体への参加＞	
	富士市消費者運動連絡会：星（会計担当、役員）、赤松（理事）、宇佐美（理事）
	富士市男女共同参画センター利用団体委員会：時田（運営委員）
＜個人として他団体への参加＞	
	民間シンクタンク、元気なごみ仲間の会、生ごみリサイクル協会 有機農産物普及・堆肥化促進協会、自然復元協会、アースライフネットワーク

第7号議案

特定非営利活動法人　富士市のごみを考える会　１６年度 会計収支予算（案）

平成16年４月１日から 平成17年３月31日まで　（単位　円）

科　　目	予　算　額	前年度予算額	増　減　額	備　　考
Ⅰ 収入の部				
１．会費収入	63,000	5,000	58,000	2,000×30
２．事業収入	50,000	10,000	40,000	販売、手当て等
３．補助金・助成金収入	250,000	0	250,000	市10万、生協2万＋3万他
４．寄付金収入	200,000	350,000	-150,000	個人、企業他
５．雑収入	50,000	0	50,000	環境フェアーその他での販売
当年度収入合計（A）	613,000	365,000	248,000	
前期繰越収支差額	-4,000	0	-4,000	
収入合計（B）	609,000	365,000	244,000	
Ⅱ 支出の部				
１．事業費				
①排出抑制、適正処理に関する先進団体等見学	50,000	360,000	-310,000	
②排出抑制、適正処理に関する普及啓発活動	300,000	0	300,000	お祭りでの紙芝居等 記念講演会等
③排出抑制、適正処理に関する実践活動	100,000	2,000	98,000	食器デポジット、生ごみコーディネーター 生ごみ生かして安心安全な野菜作り
＜事業費合計＞	450,000	362,000	88,000	
２．管理費				
①会議費	5,000	3,000	2,000	
②旅費交通費	15,000	0	15,000	
③通信費	20,000	1,000	19,000	会報誌送料他
④器具備品費	0	0	0	
⑤消耗品費	10,000	3,000	7,000	
⑥印刷費	10,000	0	10,000	フィランセ印刷費他
⑦支払手数料	3,000	0	3,000	銀行振り込み手数料他
⑧交際費	10,000	0	10,000	訪問先手土産他
⑨図書費	21,000	0	21,000	月間廃棄物年間購読料
⑩事務費	15,000	0	15,000	文房具代他
⑪公租公課	200	0	200	
⑫雑費	0	0	0	
管理費合計	109,200	7,000	102,200	
３．予備費	0	0	0	
当年度支出合計（C）	559,200	369,000	190,200	
当年度収支差額（A）－（C）	53,800	-4,000	57,800	
次年度繰越収支差額（B）－（C）	49,800	-4,000	53,800	

第８号議題

平成16年度役員について（案）

役員は、平成15年度ＮＰＯ法人発足時の理事を再任する。
役員任期は、定款16条により、1年とする。

役職名	氏　　名	住所または居所
理事	赤松　峰雄	富士市中野490-58
理事	浅野　龍雄	富士市錦町1-3-3-502
理事	宇佐美　喜久代	富士市伝法2842-5
理事	内田　圭子	富士市大渕134-39
理事	梅原　万奈	富士市大渕102-64
理事	小野　由美子	富士市大渕27－6
理事	加藤　英子	富士市今泉2843-7
理事	木ノ内　陽子	富士市緑町４－３３
理事	竹内　敏夫	富士市石坂381-11
理事	時田　祐佐	富士市中丸794
理事	星　美都子	富士市厚原1257-5-408
監事	渡辺　俊子	富士市柳島26